

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	ソフトウェア工学特論		
英文授業科目名	Advanced Topics in Software Engineering		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	西 康晴		
居室	西5-701		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishi@se.uec.ac.jp	http://blues.se.uec.ac.jp/lecture.html

【主題および達成目標】

PC、ワープロ、携帯電話、銀行、自動車など、私たちの身の回りにはソフトウェアがあふれています。しかしソフトウェアの品質や信頼性は高いとは言えません。この講義では、ソフトウェアの品質および信頼性向上のための考え方や概念、プラクティスについて解説します。テストのようなプロダクト側面から講義をアプローチするのか、プロセス改善のようなプロセス側面から講義をアプローチするのかは、講義内で学生の皆さんと相談しながら決めたいと思います。

【前もって履修しておくべき科目】

「ソフトウェア工学」（システム工学科3年次）を理解しておかないと講義が難しく感じられるでしょう。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

「品質システム工学」「品質・信頼性工学」「アルゴリズムとデータ構造」「データ構造論」「データベース論」「ソフトウェア工学（情報工学科）」などを履修しておくことで理解が進むかもしれません。

【教科書等】

教科書：「実践ソフトウェアエンジニアリング」（日科技連出版社）
 参考書：「知識ゼロから学ぶソフトウェアテスト<A.」（翔泳社）など。

【授業内容とその進め方】

- ・ソフトウェア品質確保の全体像
- ・品質による経営
- ・開発プロセスの改善

電気通信大学 平成20年度シラバス

- ・欧米型改善スキームと日本的改善スキーム
- ・テストの基礎と応用

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績は、数本のレポートで評価します。講義の内容をきちんと理解し、提示される課題に対して妥当な解決策を述べられることが必要です。

【オフィスアワー：授業相談】

質問などは随時受けつけています。まずはメールで相談してください。

【学生へのメッセージ】

この講義はプロフェッショナルのソフトウェア技術者になりたい人のためのものです。高度な内容を受け身にならずに咀嚼できる学生を歓迎します。

【その他】